

pal's club (2回目)

1, 趣 旨

ネイパル森周辺のフィールドを活かしながらも体験活動を行い、異年齢交流や創造性・感性を育てる機会とする。

2, 期 日

平成26年8月30日(土)～31日(日) 1泊2日

3, 主 催・実施場所

北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル森

4, 参加対象

小学校1年～3年生

5, 参加実績

○通年をとおした対象の参加者内訳

	1年		2年		3年		合計
	男	女	男	女	男	女	
1 乙部小			1				1
2 神山小				1			1
3 木古内小				1			1
4 鍛神小		1					1
5 北日吉小				2			2
6 久根別小			1				1
7 高丘小			1	1			2
8 中ノ沢小	1			1		2	4
9 七重小				1	1		2
10 浜分小	1			1	3		5
11 附属函館小				1		2	3
12 松城小	1						1
13 南本通小		1			1		2
14 森小	1				1		2
15 弥生小		1	1				2
合計	4	3	5	8	6	4	30
学年合計	7		13		10		
男女合計	15人/男			15人/女			



※2回目は、2年生2名キャンセルで28名の参加があった。

6, プログラム内容

	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
30 土	12:30 受付 13:00 開会式	開会式 みんなで遊ぼう (整列練習 ・話を聞く姿勢)	収穫体験 (近隣農家へ行き収穫 体験)			夕食作り (カレーライスを学年ごと役割決めて行う)			入浴 自由時間	就寝
31 日		起床 掃除 洗顔	朝食作り (カート ンドック)	荷物整理 使った道具の片付け		ふりかえり	閉会式	12:30 解散		

7, 活動の様子

この事業は、小学1年生から3年生を対象に年4回シリーズで実施する。1年生7名、2年生15名、3年生8名の計30名が登録している。

第2回目の今回は、トウモロコシの収穫と野外炊事、初めての宿泊と、様々な体験活動に挑戦する。

開会式後、学年毎に集まってボランティアから、参加にあたっての心構えについて、話を聞いた。また、班毎に3年生が中心になって集まったり、お互いに自己紹介をして、名前を覚えたりした。その後は、ネイパル森近くにある政田農園に行き、



収穫体験を行った。大きく実ったトウモロコシを一つ一つもいでいった。最後にお礼の挨拶をして、ネイパル森に戻った。採れたてのトウモロコシを輪切りにして、生のまま参加者全員で食べた。「甘い！」とどの参加者も無心になって食べていた。

夕食は、参加者全員でカレーライス作りに挑戦。班の中で、「コンロの火をおこす人」「野菜を切って具を準備する人」など役割を決めて行った。はじめての調理する子どもが多く、職員やボランティアに教えてもらいながら、一生懸命に野菜などを切っていた。でき上がったカレーをもち、みんなで「いただきます」。自分たちで作ったカレーは格別なようでおかわりをする子どもが次々にでた。後片付けも参加者全員で行い、食器など綺麗に洗った。夜は、ネイパルの研修室に班毎に固まって寝袋を敷いて就寝。

二日目、全員元気に起床。洗顔、着替えをして朝食づくり。カートドックにフルーツヨーグルト和えを作った。その後は、自分たちが炊事で使った道具や寝るときに使った寝袋などを、それぞれ片付けていった。どの子どもも自分から進んで行き、きれいにすることができた。最後に閉会式を行い、第2回目の事業を終えた。

参加者からは、「火を起こしたことが楽しかった」や3年生は「パルズクラブは3年生までなので次回も来たいです」「今回よりも1年生、2年生へ優しくしてあげたい」などの声があった。



8, 参加者の声

(以下アンケートより抜粋)

- ・カレーライスが美味しかった。(1年生)
- ・友だちと遊べてうれしかった(1年生)
- ・整列するときに、グループのメンバーをまとめていてかっこよかった(2年生)
- ・3年生のお兄さん・お姉さんのように、下の子に優しくしてあげることができるようになりたい(2年生)
- ・パルズクラブは3年生までなので、次回もきたいです(3年生)
- ・物を運んだりして、1年生や2年生の子の手伝いができた(3年生)

9, 事業の分析と考察

本事業の趣旨が「ネイパル森周辺のフィールドを活かしながらも体験活動を行い、異年齢交流や創造性・感性を育てる機会とする。」であり、その中でも今年度は“地域の素材”を活用した1年間をとおしたプログラム構成となっている。前回は、駒ヶ岳麓にある大沼でのカヌー体験であった。今回は、ネイパル森近隣で農業を営んでいる方に協力いただきながら実施することができた。

集団で寝食を共にし、協力しながら活動していくためにはルールやマナー、役割分担が大切であると考えている。今回は、初めての宿泊に挑戦であったため、3年生がグループメンバーを集合していくことや、炊事で役割を決めていくことを行った。そうしたことで、参加者の声にもあるように互いの役割を認め合いながら統率が生まれたように思う。また、今回の結果を次回の活動につなげていきたいと考えている。

10, 成果と課題

○成果

- ・野外炊事への満足度が高かった。
- ・次回への期待が高い。

▼課題

- ・今回、培った統率を発揮できるようなプログラム開発していく必要がある。